

2025 年 11 月 5 日

関係機関長 殿

学校法人 酪農学園
理事長 高 島 英 也
[公印省略]

酪農学園大学農食環境学群循環農学類専任教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび当学園の酪農学園大学農食環境学群循環農学類では、下記の要領で専任教員の公募を行うこととなりました。

酪農学園大学は「神を愛し、人を愛し、土を愛する三愛主義」、「健土健民」および「知行合一」を建学の柱とするキリスト教主義大学であり、この理念に基づいた教育ならびに研究活動に理解を示し、教育研究に熱意ある方の応募を希望しています。

つきましては、貴関係諸機関等への周知方ならびに適任者の推薦および公募について、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。なお、本学は男女雇用の均等化を推進しております。

謹白

記

1. 専門分野 「化学」または「農芸化学」
(農食環境学群循環農学類 農業生産化学研究室（仮称）を単独で担当予定)
2. 担当予定科目
 - (1) 共通教育
 - ・化学
 - ・化学実験
 - ・基礎演習
 - ・健土健民・農食環境学入門実習（農場実習）（分担）
 - ・その他、学群専門導入教育（建学の精神と農食環境学概論）、キャリア教育等の科目を担当することがある
 - (2) 専門基礎・専門教育
 - ・有機化学（2026 年度まで）
 - ・物質化学A（有機化学分野）（2027 年度より）
 - ・農業生産化学（2027 年度より）
 - ・循環農学類演習Ⅰ・Ⅱ
 - ・専門ゼミナールⅠ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、研究発表など
 - ・その他、関連分野の科目を担当することがある
 - (3) 大学院教育
 - 大学院において指導資格取得後、修士・博士課程の関連分野科目の講義・演習・特別研究指導を担当することがある

(4) 学内業務

入試業務、学生指導業務、普及活動支援業務、その他各種委員等を担当することがある。

※ 上記掲載の科目・学内業務は現在予定しているものであり、カリキュラムの進行等により追加・変更が生じることがあります。

3. 職名・人員 准教授、講師または助教 1名

4. 採用予定日 2026年4月1日

5. 応募資格

- (1) 酪農学園の建学の精神である「三愛主義」「健土健民」「知行合一」の理念に賛同し、協働できる方
- (2) 博士の学位を有する方、または取得予定の方
- (3) 担当授業科目に関する分野の研究業績と専門的知識を有する方
- (4) 協調性があり、熱意を持って教育研究を積極的に遂行できる方
- (5) 共通教育科目の化学および化学実験全体をコーディネートできる方
- (6) 農業生産につながる化学に関連した分野、例えば、生物有機化学、農薬、植物成長調整剤、植物由来天然物等に関する講義を担当できる方

6. 応募期限 2025年12月5日（金）必着

7. 提出書類

- (1) 履歴書（A4判本学様式第1号）
- (2) 研究業績目録（A4判本学様式第2号）
著書および総説、学術論文、学位論文、その他報文、口頭(学会)発表、受賞・特許等、その他（主要な学術研究費の交付等）のリスト
※上記(1)、(2)は本学ホームページに掲載したものをダウンロードして使用下さい。
URL:<https://www.rakuno.ac.jp/> 「お知らせ」の該当募集案内
- (3) 主要研究業績（著書もしくは論文）3点（別刷またはコピーでも可）、およびその3点の各業績についてA4判400字程度の要約
- (4) 博士の学位を有する方は、学位記の複写物
- (5) 博士の学位を取得予定の方は、それを証明する書類
- (6) 着任後の教育研究に対する抱負（A4判2,000字以内にまとめたもの）
- (7) これまでに担当した科目とその内容（A4判用紙、様式自由）
- (8) 推薦書（推薦書が得られる場合は、A4判用紙で添付のこと。様式自由）

8. 応募書類の作成について

- (1) 履歴書（A4判、横書き、本学様式第1号）
 - ① 高等学校以降の学歴、職歴、教育歴、取得学位、所属学会、E-mail アドレス、日中の連絡先・電話番号（携帯電話等）を記載、写真貼付、年号は西暦表記、自筆署名・押印する。
 - ② 学歴は高校卒業時より記入する。外国における留学、研究歴を記入する場合は6ヶ月以上の滞在とする。

- ③ 学位は授与年月、学位名、授与された大学名、論文題名を記入する。
- ④ 職歴、教育歴は職名、所属機関名を明記する。
- ⑤ 所属学会（会員、役員などの区別）、関連資格および社会において関連する業務・プロジェクトに参加した場合については、その活動なども記入する。

(2) 研究業績目録

次の区分に従って、年代の新しいものから順に番号を付して記入する。年号は西暦表示とする。

- ① 著書および総説：単著と共著を区別し、共著の場合は分担分を記入する。著者名、書名（分担の場合は執筆部分の章、節などの題目、開始と最終ページ）、出版社、発行年。
- ② 学術論文：レフリー制度のある雑誌の掲載論文。著者名（全著者）、題名、誌名、巻、開始と最終ページ、発行年。
- ③ 学位論文：題目、提出大学、報告年、報告番号、学位授与西暦年月日。
- ④ その他報文：大学の紀要・学術報告、研究会報告、試験場報告、業界雑誌、シンポジウムなどの掲載論文、翻訳出版物。①、②に準じて記載する。
- ⑤ 口頭（学会）発表：学会あるいはシンポジウム名、題名、開催地、開催年。
- ⑥ 受賞、特許等：受賞名、受賞年、授与者、団体名、特許取得状況などを記載する。
- ⑦ その他（主要な学術研究費の交付、エクステンション活動他）：
研究課題、交付年度、交付機関名および代表・分担の区別を記載する。

9. 応募書類提出先

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

学校法人酪農学園 事務局総務課

担当：総務課長 渡辺篤志

電話：011-388-4111 (ext6110)、e-mail：watanabe@rakuno.ac.jp

※応募書類は（簡易）書留便として「化学または農芸化学教員応募書類在中」と朱書きして下さい。

10. 職務内容の照会先

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

酪農学園大学農食環境学群循環農学類

担当教員：澤本 卓治

電話：011-388-4881、e-mail：sawataku@rakuno.ac.jp

11. その他

- (1) 応募書類は本募集に必要な範囲でのみ利用します。また、提出された書類は返却いたしませんので、ご了承下さい。
- (2) 給与等は、本学の給与規定によります。
- (3) 必要に応じて、最終面接とは別にプレゼンテーションを行っていただく場合があります。
- (4) 選考に係るプレゼンテーション・面接の旅費は各自のご負担となります。

※spam-mail 対策のため、前記の e-mail アドレスは「@を大文字」で表示しています。

以上